

EVENT REPORT

子育て応援セミナー 第2回

イマドキの「性教育」

2023.11.11(土) 13:00~15:00

@大野東市民センター



子育て中の皆さんを応援するための「学び」と「おしゃべり」の機会として、子育て応援セミナー（全3回）を開催しています。

第2回は、スタッフ含め20人が参加しました。みんなの助産所、代表助産師の小林まりあさんを講師にお招きして、こどもたちが成長していく過程でとても大切な「性教育」について、世界の基準から日本の性教育の実態、大人に求められることなど、たくさんのお話を学びました。

イマドキの「性教育」

講師 みんなの助産所 代表助産師 小林まりあ さん

【性教育とは】

- 「性」とは、8つの領域に分けることができ、実は、人の一生の土台となる部分が含まれます。「性行動」がイメージしやすく、懸念される部分ですが、性教育とは、性行為の話ではなく、一生かけて関わるべき人権的な「包括的性教育」です。
- この人生の土台がこどもの時にしっかり構築されず、大人からのフォローがないことによって、立ち向かう力が付きにくく、心を病んでしまうことにつながってしまいます。こどもが成長する過程で、自分の体に興味が出てくる時期は、特にフォローが大切です。

【国際セクシャリティ教育ガイダンス】

国際セクシャリティ教育ガイダンス



- 先進国では、性教育の指針とされるものです。「人権」を基盤に、自分も他人も認め合い、みんなが安心して暮らせる社会になっていくための内容が書かれています。
- しかし、日本ではこの考え方が取り入れられておらず、この先も予定がありません。近隣諸国で取り入れていないのは、北朝鮮と日本だけ。国連は「日本は性の後進国だ」と言っています。

【日本の性教育の実態】

- 学校教育の中では、「はじめて規定」という歴史的背景から、性交について教えることを避けられる傾向が続いています。
- 自分の体について知りたい、という欲求をどこに持っていけばいいのか。大人が教えてくれなかった、親に聞いたら気まずい空気になった、こうしたことから行き着く先は「ネット」になってしまうのです。

【日本の性教育の実態】

いのち
生命の安全教育



- 現在、日本では身内からの性的虐待などの性被害が増えた実態を受け、「いのち生命の安全教育」という取組が始まりました。
- 2023年7月、軽犯罪か、それ以下とされていた声かけ事案などに対しても法改正され、刑法で罰することができるようになりました。
- その他、さまざまな法律などの見直しができることで、信頼できる大人にこどもからちゃんと言うことができれば、守られる制度が少しずつ整えられていきます。守るためには大人との関係や自分との向き合い方を0歳から整え考えていくことが必要な世の中になってきています。



お話を聞いた後は3つのグループに分かれて、おしゃべりをしました。

自己紹介をした後に、お話を聞いた感想や気づきを共有し合い、性を通したこどもとの関係について話し合ったり、教育現場に対する願いや期待など、参加した皆さんそれぞれの率直な気持ちを伝え合うことができました。

グループ別おしゃべりタイム

ファシリテーター 中丸 直見さん



皆さんが気持ちよく安心して話せる場をみんなでつくっていくために、おしゃべりの前には、必ずファシリテーターから約束ごとの確認をします。

おしゃべりの約束ごと

- ・みんなが同じくらいの時間話す
- ・人の意見を否定しない、認め合う
- ・秘密を守る
- ・話したくないことは話さなくていいです



～ 参加者の「今日の感想」から ～

※一部を紹介します

- 私自身、こどもにとっての安全基地、安心基地になれるようにしていきたいです。
- 日本は性教育が遅れている、全く進展していないことがよく分かりました。
- 性教育を難しく、固く考えていたのですが、まずは自分の知識を増やし、豊富にした上で、いつでもどんなことでも話せる親子の関係をこのまま続けられるようにしていきたいです。
- 自分の子どもに対して、今後、性に対しての話を一緒に学び、恥ずかしいことではなく、大事なことということを伝えていきたいと思いました。犯罪からも守れるし、性交関係にも適切な知識を持てるし、病気からも予防できることが知れてよかったです。
- 一人でも多くのこどもたちに、今日の講座のような性教育について教えてあげることができれば、と思い、外部教育活動が広まってほしいと思いました。
- こどもが聞きやすい、言いやすい関係をつくっていきたいと思いました。自分が恥ずかしがらずに伝えていきたいので、まずは、絵本を使って関わっていこうと思います。



- 性教育について、こどもができてから 自分なりにいろいろ調べたり、本を読んだりしてきました。そのことが今日のお話で、知識に裏打ちされて深まりました。

- こどもの素朴な疑問に、真摯に、さらっと答えられるようになりたいです。

【参加者の年代】

